

□■受験対策ミニ講座 10号 2020□■ (養成所ニュースプラス第16号)

試験まであと2ヶ月あまり。まだエンジンがかかっていない人は、修了証書を壁に飾って、気持ちを切り替えましょう。既にスタートしている人は、ちょっと中だるみの時期かもしれません。天気の良い日に散歩をするなど、上手に気分転換して、また前に進んでいきましょう。

大統領選挙の結果で揺れるアメリカの「分断」が気になります。多民族国家アメリカでは、異文化理解を促進するためにもあって心理学が発展したと言われます。今回はアメリカで発達したカウンセリングに関する問題。科目は「心理学理論と心理的支援」です。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【問題10】アイビー (Ivey, A.) のマイクロカウンセリングの基本的なかわり技法に関する次の記述のうち、「開かれた質問の例」として、正しいものを1つ選びなさい。(28回13)

1. あなたはご長男ですか？
2. あなた方ご家族は、どちらにお住まいですか？
3. あなたは、いつからこちらにお住まいですか？
4. あなたは、結婚についてどのように感じておられますか？
5. あなたは、ご自分の人生がうまくいっていると思いますか？

答えと解説は最後に記載してあります。

■Plus Column・・・・・・・・

【胸キュンはどこから？】

「心はどこにありますか？」と聞かれると、日本では胸のあたりを指す人が多いようです。迷わず頭を指差して「脳にある」と答える人が多い国や地域もあると聞きます。

心理学は「人の心や、人や動物の行動を研究する学問」とされます。「意識」を対象とする立場に対して、「行動」を研究対象とする立場から「行動主義」が確立され、他方、フロイトは無意識という概念を提唱しました。フロイトの無意識論、エロス論、心的装置論などは理性に基礎を置く西洋思想を揺さぶり、宗教・芸術・社会論など20世紀の人間諸科学に影響を与えていきます。

臨床心理学、発達心理学、社会心理学は19世紀半ばころから発展してきます。さらに全体性を重視したゲシュタルト心理学、社会的要因をとり入れた認知心理学など、心理学は19世紀末から20世紀にかけて、様々な分野で展開されていきます。

心理学が発展していく時期は、ソーシャルワークが誕生し発展していく時期とほぼ重なります。心理学やカウンセリングの影響を受けながら、心の内面ではなく、人と社会との接点に着目し、問題を社会的に解決するという方向に向けて発展してきたのが、ソーシャルワークです。このことに気づくと、私たちは、人間について様々な角度から研究する心理学から、多くのことを学ぶ必要があることが、わかると思います。

誰かのことを考えて胸がキュンとしたり、緊張すると胃が痛くなったり、月が大きく見えたり、小さく見えたり—このように誰もが経験していることが、心理学の研究対象とされています。日々の暮らしの中から、心理学に関心をもって、人間理解に役立てていきましょう。

■Back Number・・・・・・・・

過去のバックナンバーはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=2686](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686)

【Plus Quiz・・・・・・・・答えと解説】

「開かれた質問」は感情を伴う答えが予想されるような質問。「閉ざされた質問」は、はい・いいえで答えられる質問やひとことで答えられるような質問のことです。どちらが優れた質問という事ではなく、場面や必要に応じて使い分けま

す。

1. ×はい・いいえで答えられます。
2. ×一言で答えられます。
3. ×～年からです、と一言で答えられます。
4. ○感情を伴う答えが予想されます。
5. ×はい・いいえで答えられます。

※マイクロカウンセリングの技法は「相談援助の理論と方法」でも、よく出題されます。現場でも役立つ技法ですので、しっかり学習しておきましょう。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus